

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第1四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	85.2	85.2(R3)	+3.4
政策1	①年間出生数(4~3月)	人	109	105	(4-6月)16	△8
	②人口の社会動態(20~30代)	人	△92	△75	(4-6月)△3	+26
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.8	—	—
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	359	261	+39
	③センター新規相談者数	人	21	24	2	+1
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	69	43	△6
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	40	+2
	環境保全実施面積	%	75	77.0	76	±0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	390	—	—
	リサイクル率	%	28	30.0	—	—
政策5	①自治会(地区)の防災計画策定	自治会	1	1	2	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	69	14	△8
	交通事故発生件数(人身)	件	17	21	7	△1
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①婚活イベントや子育て応援手当などの結婚・子育て支援のほか、新たに放課後児童クラブやファミリーサポートセンター利用料の補助、妊婦・産婦への支援事業を実施。前年同期と比べ8人減。</p> <p>②お試し住宅、空き家バンク、移住相談の実績が伸びており、地方移住への関心の高まりが感じられる。</p> <p>2 ①新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら集団健診及び健診結果説明会、健康デー、健康・栄養相談、運動教室などを実施し、健康意識向上のための啓発、指導等を行っている。</p> <p>3 ①民生児童委員定例会において、県・町・社会福祉協議会の福祉事業を周知し、理解を深めた。</p> <p>②新規サロンへの参加者募集のため設立イベントを実施した。前年同期より参加者が増加。</p> <p>③芳賀郡障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がいがある方のニーズ把握に努めた。</p> <p>④生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付、自立相談などの支援を行った。</p> <p>4 ①(4~6月)木質バイオマスストーブ申請1件、太陽光蓄電池設置申請1件。</p> <p>②前沢町有林の山ザクラの管理について県のグリーンアドバイザーと現地確認を行った。大規模ひまわり畑に向け播種作業を実施した。</p> <p>③エコ土曜日において新たに硬質プラスチックの回収を開始(回収量1.9t)。</p> <p>5 ①地区防災計画を現在策定しているのは2自治会(新町、生田目)。</p> <p>②防犯灯設置26基(蛍光灯→LED12、新規14)、特殊詐欺対策電話機購入補助4件、免許返納5人。</p>	<p>1 ①安心して子育てができるように実施している結婚、妊娠、出産、子育てに対する各種支援策を広く周知する。ファミリーサポートセンター提供会員の募集に力を入れる。</p> <p>②移住検討者に寄り添った支援により、着実に移住へとつなげていく。空き家バンクの充実のため優良な物件の掘り起こしに努めていく。</p> <p>2 ①健診の受診対象者に合わせた勧奨の工夫と結果説明会における丁寧な指導のほか、運動や栄養を学ぶ機会を充実させ、健康な体づくりへの意識を高めていく。</p> <p>3 ①地区別戦略の検討に併せ地域ぐるみの生活支援事業についても考えていく。</p> <p>②関係機関と連携し、高齢者サロンやいきいきクラブ、シルバー人材センターなどの活動を支援していく。</p> <p>③支援センターとの定期的な情報共有により一貫した支援に努める。</p> <p>④福祉に関連する相談業務の状況を把握し、必要な体制を検討していく。</p> <p>4 ①電気自動車購入補助金の周知と充電施設の拡充に取り組む。太陽光発電など次世代エネルギー利用推進に関する各種補助金のPRを行う。</p> <p>②アカマツ復活プロジェクトとして小学生の枝打ち体験、アカマツ植栽事業を予定している。</p> <p>③資源物の回収について引き続き自治会や育成会にPRしていく。</p> <p>5 ①今年度の目標値は達成しているが、計画の新規策定自治会の支援について検討する。</p> <p>②犯罪や交通事故を発生させないため、青色防犯パトロール及び交通安全教室は継続して実施していく。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	85.2	85.2(R3)	+3.4
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	105	(4-9月)32	△18
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△75	△16	+28
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.8	—	—
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	359	266	+27
	③センター新規相談者数	人	21	24	9	+4
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	69	43	△6
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	40	+2
	環境保全実施面積	%	75	77.0	76	±0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	390	—	—
	リサイクル率	%	28	30.0	—	—
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	1	2	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	69	31	△16
	交通事故発生件数（人身）	件	17	21	12	△1
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①子育て応援手当 1705 世帯、2979 人、4231 万円支給。町結婚相談連絡協議会主催の婚活イベント（11/6）開催に向け準備。放課後児童クラブ利用料の補助を実施。前年同期と比べ 18 人減。</p> <p>②9月に県主催の移住フェアに参加し、移住相談や町のPRを行った。空き家バンクの登録10件、成約10件と第1四半期と比べ増加傾向にある。</p> <p>2 ①新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら集団健診及び健診結果説明会、健康デー、健康・栄養相談、運動教室などを実施し、健康意識向上のための啓発、指導等を行った。</p> <p>3 ①命の大切さの普及啓発活動をコロナワクチン接種会場や健康教室等で実施した。</p> <p>②7月に10カ所目となるふれあいサロンを新規開設。前年同期より教室・サロン参加者が増加。</p> <p>③芳賀郡障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がいがある方のニーズ把握に努めた。</p> <p>④生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付、自立相談などの支援を行った。</p> <p>4 ①（7～9月）太陽光発電システム設置申請1件、太陽光蓄電池設置申請1件。</p> <p>②前沢町有林遊歩道及び駐車場の草刈りを7月に実施。大規模ひまわり畑（8/6～8/16）に41,699人が来場した。</p> <p>③食器類のリユース回収を8月から開始した。不法投棄監視用カメラを2台購入。</p> <p>5 ①地区防災計画を現在策定しているのは2自治会（新町、生田目）。</p> <p>②防犯灯設置26基（蛍光灯→LED11、新規15）、特殊詐欺対策電話機購入補助4件、免許返納9人。</p>	<p>1 ①結婚、妊娠、出産、子育てに対する各種支援策を広く周知する。移住・定住補助事業の奨励金や家賃補助金の申請件数が伸びてきている。今後さらに、補助制度や周知方法の見直しを検討する。</p> <p>②平成28年の空き家バンク制度開始からの合計は登録110件、成約87件で成約率は7割を超えており、有効活用されていると考えられる。</p> <p>2 ①健診の受診対象者に合わせた勧奨の工夫と結果説明会における丁寧な指導のほか、運動や栄養を学ぶ機会を充実させ、健康な体づくりへの意識を高めていく。</p> <p>3 ①地区別戦略の検討に併せ地域ぐるみの生活支援事業についても考えていく。</p> <p>②教室やサロンの活動休止期間が増加すると身体機能が低下する恐れがあるため、コロナ感染対策を徹底し活動を継続していく。</p> <p>③優先調達を促進するため、各事業所が取り組んでいる作業等をまとめた資料を各課に提供する。</p> <p>④福祉に関連する相談業務の状況を把握し、必要な体制を検討していく。</p> <p>4 ①10月18日に開催する「持続可能なまちを創造する」講演会を契機として、町民の脱炭素に対する関心を高めていく。</p> <p>②アカマツ復活プロジェクトとして小学生の枝打ち体験、アカマツ植栽事業を予定している。</p> <p>③社会福祉協議会と連携したフードドライブの実施に向けて広報等でPRしていく。</p> <p>5 ①今年度の目標値は達成しているが、新たに計画策定について1自治会に働きかけを行っている。</p> <p>②犯罪や交通事故を発生させないため、青色防犯パトロール及び交通安全教室は継続して実施していく。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	85.2	85.2(R3)	+3.4
政策1	①年間出生数(4~3月)	人	109	105	(4-12月)54	△30
	②人口の社会動態(20~30代)	人	△92	△75	4	+72
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.8	—	—
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	359	279	+23
	③センター新規相談者数	人	21	24	10	+2
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	69	43	△6
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	40	+1
	環境保全実施面積	%	75	77.0	80.9	+4.9
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	390	—	—
	リサイクル率	%	28	30.0	—	—
政策5	①自治会(地区)の防災計画策定	自治会	1	1	2	±0
	②刑法犯発生件数	件	68	69	52	△10
	交通事故発生件数(人身)	件	17	21	16	±0
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	1	△1

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①4月から12月までの出生数は54人で前年同期と比べて30人減少。11月の婚活イベントに男性9人、女性8人参加しカップル2組成立。育脳プログラム実践スタッフ向け研修会を開催。</p> <p>②秋の陶器市で「ましこ里山手帖」配布。農と食の学校で移住相談や町のPRを行った。お試し住宅、オーダーメイドツアーの利用が順調。</p> <p>2 ①新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら集団健診及び健診結果説明会、健康デー、健康・栄養相談、運動教室などを実施し、健康意識向上のための啓発、指導等を行った。</p> <p>3 ①悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげる「ゲートキーパー」の養成講座を実施した。</p> <p>②12月末の介護予防教室・高齢者サロン参加者実人数は279人で前年同期より23人増加。</p> <p>③芳賀郡市で組織している自立支援協議会が主催する研修会等に積極的に参加し、情報の収集を行った。</p> <p>④生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付、自立相談などの支援を行った。</p> <p>4 ①12月から省エネ家電製品購入費補助金交付申請受付開始。(12/28現在、交付決定数40件)</p> <p>②アカマツ復活プロジェクトとして12月に小学生が参加し枝打、間伐作業を行った。コスモス畑(10/1~10/16)に33,772人が来場した。</p> <p>③食品ロス削減に向け社会福祉協議会と連携したフードドライブを実施。(収集量333kg)</p> <p>5 ①12月に自治会長を対象として、防災士会による地区防災計画の講習会を実施した。</p> <p>②防犯灯設置34基(蛍光灯→LED19、新規15)、特殊詐欺対策電話機購入補助7件、免許返納17人。</p>	<p>1 ①結婚、妊娠、出産、子育てに対する各種支援策を広く周知する。移住・定住補助事業の奨励金や家賃補助金は前年度を上回る実績。引き続き制度の周知に努め定住人口の確保を図っていく。</p> <p>②空き家バンクへの優良物件登録に向けた調査を進めるとともに、不動産業者と連携を密にして迅速な対応に努める。</p> <p>2 ①健診の受診対象者に合わせた勧奨の工夫と結果説明会における丁寧な指導のほか、運動や栄養を学ぶ機会を充実させ、健康な体づくりへの意識を高めていく。</p> <p>3 ①地区別戦略の検討に併せ地域ぐるみの生活支援事業についても考えていく。</p> <p>②教室やサロンの活動を休止すると身体機能が低下する恐れがあるため、コロナ感染対策を徹底し活動を継続していく。</p> <p>③芳賀郡障害児者相談支援センターと連携を図り、障がいがある方のニーズ把握に努めていく。</p> <p>④福祉に関連する相談業務の状況を把握し、必要な体制を検討していく。</p> <p>4 ①10月に開催した持続可能なまちづくりに向けた講演会により高まった町民の脱炭素に対する意識をさらに発展させていく。</p> <p>②2月にアカマツ苗の植樹を予定。里山保全活動をしている団体への支援を行っていく。</p> <p>③今年度から開始した製品プラスチック回収、食器類のリユース回収の周知を図っていく。</p> <p>5 ①今年度の目標値は達成しているが、新規計画策定自治会の支援について検討を行う。</p> <p>②犯罪や交通事故を発生させないため、青色防犯パトロール及び交通安全教室は継続して実施していく。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第4四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	85.2	89.1	+3.9
政策1	①年間出生数(4~3月)	人	109	105	73	△33
	②人口の社会動態(20~30代)	人	△92	△75	△30	+74
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.8	11.6	+0.4
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	359	279	+18
	③センター新規相談者数	人	21	24	14	△5
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	69	80	+37
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	41	+1
	環境保全実施面積	%	75	77.0	77.9	+1.9
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	390	444	△5
	リサイクル率	%	28	30.0	26.9	+0.8
政策5	①自治会(地区)の防災計画策定	自治会	1	1	2	±0
	②刑法犯発生件数	件	68	69	55	△8
	交通事故発生件数(人身)	件	17	21	21	±0
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	1	△1

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①年間出生数が73人で前年より33人減少し年間目標値に届かなかった。婚活イベントでは、3組のカップル成立。各学校で開催の思春期教室は、将来の子育てに生かせる教室となるよう子供たちの理解度に合わせた組み立てで行った。</p> <p>②都内開催の移住フェアに参加し移住相談・PRを行った。お試し住宅：2件、ツアー：0件、移住相談：48件、空き家バンク登録9件・成約5件。</p> <p>2 ①各種健康教室を開催し、自らの健康意識の意識向上のための普及啓発を行った。健康デー：126人、栄養相談：11人が参加した。</p> <p>3 ①命の大切さについて普及啓発活動を、健康教室や役場職員対象に行った。</p> <p>②サロン・教室は感染予防対策の確認・相談を行い開催した。シルバー人材センターとの意見交換等を行った。</p> <p>③自立支援協議会主催の研修会に参加し、事業の必要性についての理解を深めることができた。</p> <p>④福祉に関する総合窓口の検討会議を行った。また県主催の窓口設置研修会に参加し情報の収集を行った。</p> <p>4 ①省エネ家電製品購入補助申請188件、木質バイオマスストーブ申請1件に対し交付決定を行った。</p> <p>②里山整備林事業6か所完了。アカマツ復活プロジェクト植樹作業を行った。</p> <p>③新たに資源物回収品目に魔法瓶、ウオータージャグを追加し、ごみ量の減少やリサイクル率の向上に繋げていく。</p> <p>5 ①今年度の目標値は達成している。</p> <p>②交通安全教室：22回 防犯灯設置：17基 特殊詐欺対策電話機購入：8件、免許返納：6人</p>	<p>1 ①これまでの子育て支援に加え、移住・定住補助事業の奨励金や家賃補助などの制度についても周知の場を増やし、安心して子育てができる環境を整え定住人口の増加を図っていく。</p> <p>②オンラインサイトを活用し様々な情報発信を行うと共に、空き家バンクのアンケートの集計結果を参考に、空き家・空き地の有効活用の促進に努める。</p> <p>2 ①安全に検診が受けられるよう環境統制をし、受診者に合わせた勧奨の工夫と丁寧な結果説明会や指導を行い、健康な体づくりの意識を高める。</p> <p>3 ①地域ぐるみの生活支援事業を引き続き検討して行く。</p> <p>②介護予防教室や高齢者サロンについては、包括支援センターや社会福祉協議会と連携し、活動を継続して行く。</p> <p>③障害者福祉センターと連携を図り障害のある方のニーズの把握に努める。</p> <p>④福祉に関する相談業務の情報把握をし、必要な体制を検討して行く。</p> <p>4 ①太陽光発電など新世代エネルギー利用促進に関する各種補助金のPRを行いながら、町民の環境に対する意識をさらに発展させて行く。</p> <p>②栃木の元気な森づくり事業が継続されるので、各団体に継続の案内と支援を行って行く。</p> <p>③フードバンクを活用した食品ロスの削減に努めて行く。</p> <p>5 ①地域防災計画の意識高揚のための研修会を予定している。</p> <p>②犯罪や交通事故を発生させないため、青色防犯パトロール及び交通安全教室は、継続して実施して行く。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	企画課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる		政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現		
施策	みんなで子育てするまちの実現		進捗状況	100%		
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」		関連するSDGs	—		
KPI	年間出生数(4~3月)		本年度目標値	105	現状値	73 人
KPI			本年度目標値		現状値	
KPI			本年度目標値		現状値	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	⑤両制度の周知・広報と交付事務 制度の見直し検討	<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:0件】 ・家賃補助【申請:0件】 ・両制度について、20~30代OLをターゲットとした雑誌の取材に対応。7月号(5月発売)に制度内容を掲載。 			
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:4件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:2件】 			
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:6件】 ・家賃補助【申請:2件】 			
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:2件】 ・家賃補助【申請:1件】 			
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:3件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:0件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	1月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:0件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	2月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:0件】 ・家賃補助【申請:0件】 			
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金【申請:6件】 ・家賃補助【申請:0件】 			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>奨励金については、前年度より早いペースで申請を受け付けている。一方家賃補助については、相談は数件あったものの、申請には至っていない状況である。</p> <p>引き続き両制度の周知に努めるとともに、家賃補助については申請が伸び悩んでいる状況にあるため、交付条件等の制度見直しや、制度の周知方法について検討したい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>奨励金については、前年度の同時期と比較すると倍近い申請を受け付けている。また、家賃補助については、前年度からの継続申請を2件、新規申請を3件受け付けており、既に前年度の申請件数を上回ることとなった。</p> <p>なお、家賃補助の新規申請のうち、2件が空き家バンクに掲載された物件を借りた方からの申請であることから、本制度と空き家バンク制度を併せた周知を行うことで利用者増加への相互効果が期待できるものと思料されるため、今後の周知において工夫したい。また制度見直しについては、申請件数が伸びているため、今後の状況を見ながら検討したい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>奨励金については、申請のペースは鈍化したものの、前年度を上回る申請実績となっている。家賃補助については、新たな申請はなかったが、同様に前年度を上回る実績となっている。</p> <p>引き続き両制度の周知に努め、定住人口の確保を図りたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>奨励金については、年度終盤に申請件数が伸び、前年度を上回る申請実績となった。家賃補助については、新たな申請はなかったが、同様に前年度を上回る実績となった。</p> <p>引き続き両制度の周知に努め、定住人口の確保を図りたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>全期</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 町内外にPR強化を継続して、移住・定住者が増加することを期待する。</p>	<p>第4四半期の③欄のとおり進めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【計画・実施状況シート】		課局名	健康福祉課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現			
施策	みんなで子育てするまちの実現	進捗状況	100%			
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—			
KPI	年間出生数(4~3月)	本年度目標値	105	現状値	73	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	① 益子らしい自然を活かした遊びの検討	① 小宅古墳群花畑にてカブト虫幼虫つかみ 3/26~4/10 ④ 高島先生のリミック講座開催4/18(偶数月)7組 17:00~19:00自習室として開放(14人)利用者:690人 ⑤ 子育て応援手当対象者リスト作成			
	5月	② 学童期からの思春期教室の検討 ③ 出会いイベント等の検討	④ 自習室PR金曜日追加(お知らせ版、HP、学校) 親子ヨガ5/11(9組)利用者:755人(うち自習室:18人) ⑤ 子育て応援手当申請書発送 1721世帯 2,995人 4,247万円			
	6月	④ ましこココハウスの充実 ⑤ 子育て応援手当等による支援	③ 社協婚活イベント委託6/26(カップル2組) 結婚相談連絡協議会開催6/28 ④ リミック6/20(10組)利用者:1040人(うち自習室46人) ファミリーサポート利用会員の登録(2組) ⑤ 子育て応援手当支給開始 6/1~ 実績:1437世帯83%、2,585人86%、3,737万円87%			
	7月	① 益子らしい自然を活かした遊びの検討	③ 結婚相談連絡協議会開催7/27 ④ 親子ヨガ7/13(8組)利用者:911人(うち自習室37人) 夏祭り実施7/28(15組)子育て支援隊協力 利用者:642人(うち自習室19人) ⑤ 子育て応援手当支給 実績:1597世帯92%、2840人94%、4,064万円95% ひとり親応援手当検討・申請書発送 150世帯 216人 432万円			
	8月	② 学童期からの思春期教室の検討 ③ 出会いイベント等の検討 ④ ましこココハウスの充実	③ 結婚相談連絡協議会開催(現地視察)8/18 ④ リミック 8/22(7組)利用者:642人(うち自習室19人) ⑤ 子育て応援手当支給・お知らせ版再掲載 実績:1661世帯96%、2,920人97%、4,162万円98% ひとり親応援手当支給 実績:143世帯95%、208人96%、416万円96%			
	9月	⑤ 子育て応援手当等による支援	③ 結婚相談連絡協議会開催9/21 出会いイベント参加者募集の案内周知 ④ 子育て支援員研修の案内、町HPにて案内 親子ヨガ9/14(7組)利用者:625人(うち自習室26人) ⑤ 子育て応援手当支給 実績:1705世帯99%、2,979人99%、4,231万円99% ひとり親応援手当支給 実績:147世帯98%、212人98%、424万円98%			
	10月	① 益子らしい自然を活かした遊びの検討	③ 結婚相談連絡協議会開催10/25(イベント打合せ) 商工会婚活イベント委託10/9(カップル0組) ④ リミック10/17(9組)ハロウィンイベント(11組) 利用者:631人(うち自習室25人) ⑤ 子育て応援手当支給 実績:1707世帯99%、2,981人99%、4,233万円99% ひとり親応援手当支給 実績:148世帯99%、214人98%、428万円98%			
	11月	② 学童期からの思春期教室の検討 ③ 出会いイベント等の検討 ④ ましこココハウスの充実 ⑤ 子育て応援手当等による支援	② 益子特別支援学校思春期教室11/29(45人) ③ 町協議会婚活イベント委託11/6(カップル2組) 結婚相談連絡協議会開催11/16(イベント開催後振返) 芳賀広域結婚相談員情報交換会11/17(2名参加) ④ 親子ヨガ11/9(4組)利用者:551人(うち自習室11人) ファミリーサポート利用会員の登録(1組)			
	12月		② 田野中思春期教室12/13(47人) ④ 育脳研修12/1~2、利用者:456人(うち自習室3人) クリスマスコンサート12/19(10組) ファミリーサポート利用会員の登録(1組) ⑤ 子育て応援手当支給 実績:1708世帯99%、2,982人99%、4,234万円99%			
	1月	① 益子らしい自然を活かした遊びの検討	② 七井中学校思春期教室1/26(58人) ④ 親子ヨガ1/11(4組)利用者:576人(うち自習室4人) ファミリーサポート利用会員の登録(1組)			
	2月	② 学童期からの思春期教室の検討 ③ 出会いイベント等の検討	② 益子中思春期教室2/7(105人) 益子西小思春期教室2/17(59人) ③ 社協婚活イベント委託2/19(カップル3組) ④ 子育て講座(育脳研修)2/4、リミック2/20(10組) 利用者:561人(うち自習室4人)			
	3月	④ ましこココハウスの充実 ⑤ 子育て応援手当等による支援	③ 結婚相談連絡協議会開催3/15 芳賀広域結婚相談員情報交換会3/29 ④ ひなまつりイベント実施(食改さん協力)3/2(7組) 親子ヨガ3/8(8組)利用者:772人(うち自習室15人) ファミリーサポート利用会員の登録(1組)、利用実数(1件)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>②についての具体的検討は行えなかった。次期以降に検討する。</p> <p>③6/26開催の社協主催婚活イベントを視察した。結婚相談連絡協議会では、出会いイベントの開催の有無について検討し、開催する方向で決定をした。今後、日程、イベント内容等を会議で検討する。</p> <p>④自習室は、5月の金曜日利用はなかったが、6月より金曜日の利用者もでてきた。ニーズを見据えたい。ファミリーサポートの提供会員の確保が課題となっており、今年度から町からも提供会員への報償費を開始した。子育て支援員研修を視野に提供会員の募集PRをしたい。</p> <p>⑤応援手当の申請は順調。7月以降は高校生のみ世帯や公務員が中心となる。8月上旬には未申請者に再通知する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①②についての具体的検討は行えなかった。次期以降に検討する。</p> <p>③結婚相談連絡協議会主催の出会いイベントの開催を 11/6(日)りんご狩りと決定をした。開催に向けて、月に1度のペースで会議を開催し、内容等の打ち合わせをした。参加者募集を広報紙や町HPや未来クラブHPなどを通して周知した。今後は、イベント開催に向けて打ち合わせ会議等を行い、準備を進めたい。</p> <p>④子育て支援員研修が県より周知があり、町HPや保育園等に周知した。今後、研修を受講を通して、ファミリーサポートの提供会員の確保につなげたい。</p> <p>⑤臨時交付金(コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)によりひとり親応援手当の申請を開始した。子育て応援手当・ひとり親応援手当申請は順調。9月中旬には未申請者に再通知した。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①についての具体的検討は行えなかった。次期以降に検討する。</p> <p>②について、学校において思春期教室を実施した。次期以降も思春期教室を予定している。</p> <p>③結婚相談連絡協議会主催の出会いイベントの開催を 11/6(日)りんご狩りの開催に向けてスタッフでイベント会場の清掃(10/27, 10/31)、打ち合わせを行い準備を進めた。女性の申し込み者が定員より集まらず、締切日(10/31)まで延長し、再度募集を行ったところ最終的に8名参加いただき、当日は、2組のカップルが成立した。イベント後、会議を持ち、反省点や改善点などの話し合いを行った。</p> <p>④ファミサポの利用会員の登録があった。今後、次期以降に打ち合わせを行う予定。育脳研修を受講し、育脳インストラクターにアドバイスをいただいた。運営に活かしたい。</p> <p>⑤子育て応援手当の精算が未済で申請を受けることが可能だったため受付を行った。次期には精算したい。学童クラブ利用料助成制度は、今年度から開始し、10月には上半期(4月～9月分)の申請手続きを行った。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①については、具体的に実施できなかった。来年度、他課との協同を検討したい。</p> <p>②について、各学校において思春期教室を実施した。感染予防策を取りながら赤ちゃん抱っこ体験等を取り入れ、より記憶に残りやすい内容を実施した。今後も生徒の理解度や課題に併せたグループワークを組み立て、将来の子育てに生かせる教室を実施していきたい。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、婚活イベント委託(4回)を実施することができた。来年度以降も婚活イベントの委託を継続し、出会いの場の提供していきたい。また、広報などを通して、県とちぎ未来クラブPRを強化していきたい。</p> <p>④親子ヨガ、リトミック等イベントを継続する予定。来年度は5周年にあたるので、イベントを計画し、実施したい。育脳のポスター(園児用、小学生用)を作成した。保育所等に掲示を依頼する。</p> <p>⑤子育て応援手当・ひとり親応援手当精算。学童クラブ利用料助成制度の下半期(10月～3月分)の申請手続きを行う。R5年度子育て応援手当は例年どおり6月に実施。R6年度以降見直し時期のため検討したい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 いろんな角度からの子育て支援継続に期待する。</p>	<p>今後も子育てしやすい町の実現をめざし、支援の継続しながら、PRを図り、子育て世帯増加に努めたい。 また、婚活については、出会いの場として、婚活イベントを実施していきたい。</p>

第3期まじこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現			
施策	みんなで子育てするまちの実現	進捗状況	100%			
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—			
KPI	年間出生数(4～3月)	本年度目標値	105	現状値	73	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)	②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月	思春期教育 ②「自己理解の吟味」の学習を学活にて実施 益子中(5月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 益子中(6月)	未実施			
	5月	②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 七井中(6月) ②「すばらしい命」の学習を家庭教育学級にて実施 田野小(6月)	②「自己理解の吟味」の学習を学活にて実施 益子中(5月)			
	6月	②「体の成長とわたし」の学習を体育にて各小で実施 (6月) ②「不安の悩みの解決にむけて」の学習を学活で実施 田野中(6月)	②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 益子中(6月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 七井中(6月) ②「すばらしい命」の学習を家庭教育学級にて実施 田野小(6月) ②「体の成長とわたし」の学習を体育にて各小で実施 (6月) ②「不安の悩みの解決にむけて」の学習を学活で実施 田野中(6月)			
	7月	②「成長していく心と体」の学習を学活で実施 益子中(7月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 七井中(7月)	②「成長していく心と体」の学習を学活で実施 益子中(7月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 七井中(7月) ⑤児童200円/月、生徒400円/月 4月～6月分の補助 延べ人数 4, 903人 1, 320, 400円			
	8月	②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 田野中(9月) ⑤子育て世帯への支援 学校給食費の補助	⑤児童200円/月、生徒400円/月 7月分の補助 延べ人数 1, 619人 435, 800円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 4月～7月分の補助 延べ人数 6, 559人 1, 221, 120円			
	9月		②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 田野中(9月)			
	10月		⑤児童200円/月、生徒400円/月 9月分の補助 延べ人数 1, 619人 435, 800円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 9月分の補助 延べ人数 1, 632人 303, 858円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 9月分の補助 延べ人数 1, 632人 3, 261, 090円			
	11月	②「男女の体の変化」の授業を学活にて実施 七井小(11月) ②「不安や悩みを解決しよう」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「心身の機能の発達と心の健康」の学習を保健にて実施 七井中(11月) ②「私たちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「不安や悩みの解決に向けて」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「生命誕生」の授業を学活にて実施 七井小(12月) ②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 田野中(12月)	②「男女の体の変化」の授業を学活にて実施 七井小(11月) ②「不安や悩みを解決しよう」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「心身の機能の発達と心の健康」の学習を保健にて実施 七井中(11月) ②「私たちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「不安や悩みの解決に向けて」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ⑤児童200円/月、生徒400円/月 10月分の補助 延べ人数 1, 628人 437, 600円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 10月分の補助 延べ人数 1, 632人 303, 840円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 10月分の補助 延べ人数 1, 632人 3, 260, 160円			
	12月	⑤子育て世帯への支援 学校給食費補助	②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 田野中(12月) ⑤児童200円/月、生徒400円/月 11月分の補助 延べ人数 1, 622人 435, 600円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 11月分の補助 延べ人数 1, 631人 303, 660円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 11月分の補助 延べ人数 1, 631人 3, 253, 380円			
	1月	②「私の誕生」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ② 思春期教室を実施 七井中(1月) ②「男女の体と心の変化」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②「心身の発達と心の健康」の学習を保健で実施 田野中(1月) ⑤児童200円/月、生徒400円/月 12月分の補助 延べ人数 1, 621人 435, 200円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 12月分の補助 延べ人数 1, 626人 302, 688円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 12月分の補助 延べ人数 1, 626人 3, 248, 200円	②「私の誕生」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ② 思春期教室を実施 七井中(1月) ②「男女の体と心の変化」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②「心身の発達と心の健康」の学習を保健で実施 田野中(1月) ⑤児童200円/月、生徒400円/月 12月分の補助 延べ人数 1, 621人 435, 200円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 12月分の補助 延べ人数 1, 626人 302, 688円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 12月分の補助 延べ人数 1, 626人 3, 248, 200円			
	2月	②「私の誕生」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ② 思春期教室を実施 七井中(1月) ②「男女の体と心の変化」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②「心身の発達と心の健康」の学習を保健で実施 田野中(1月) ②「いのちの大切さを学ぼう」の学習を思春期教室にて実施 益子小(2月) ⑤子育て世帯への支援 学校給食費の補助	②「いのちの大切さを学ぼう」の学習を思春期教室にて実施 益子小(2月) ⑤児童200円/月、生徒400円/月 1月分の補助 延べ人数 1, 618人 434, 400円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 1月分の補助 延べ人数 1, 622人 301, 932円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 1月分の補助 延べ人数 1, 622人 3, 240, 420円			
	3月		⑤児童200円/月、生徒400円/月 2～3月分の補助 延べ人数 3, 238人 831, 200円 物価高騰分として 児童180円/月、生徒198円/月 2～3月分の補助 延べ人数 3, 246人 604, 224円 保護者負担軽減分として 児童・生徒2, 000円/月 2～3月分の補助 延べ人数 3, 246人 6, 665, 540円			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②学校の性教育の計画に従い、思春期教育を実施することができた。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。養護教諭がT2として授業に参加する学校の実践があった。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。 ⑤子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため学校給食費の一部と、高騰する食材費の一部の補助を行った。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。養護教諭がT2として授業に参加する学校の実践があった。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。 ⑤子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため学校給食費の一部と、高騰する食材費の一部の補助を行った。</p>
<p>総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。 ⑤子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため学校給食費の一部と、高騰する食材費の一部の補助を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 コロナの影響や物価高騰により苦しい生活をされている家庭への(学校給食費など補助)支援を続けていただきたい。</p>	<p>・引き続き、効果的な学習ができるよう、関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりしていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	企画課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現			
施策	若者のUJJターンの推進	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	—			
KPI	人口の社会動態(20~30代)	本年度目標値	△ 75	現状値	△ 30	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:2件】【道:7件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:1件】 ●移住支援金について、2~30代OLをターゲットとした雑誌の取材に対応。7月号(5月発売)に制度内容を掲載。			
	5月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新 ※ 支援員の設置や受入体制の充実、基礎目標5政策3施策1において推進	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:4件】【道:12件】 ⑤バンク【登録:0件】【成約:1件】 制度案内チラシを固定資産税通知書に同封し送付 ●移住支援金【申請:1件】			
	6月	⑤空き家バンク制度運営、固定資産税通知書に制度案内チラシを同封 ●R1年度開始の地方創生移住支援金※の周知・広報と交付事務 ※ 東京23区の在住者等が、県が運営する企業情報掲載サイトに掲載された求人へ新規就業するなどして県内市町に移住した場合に、国・県・町が支援金を交付する制度	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:5件】【道:10件】 ⑤バンク【登録:3件】【成約:0件】			
	7月		③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:6件】【道:13件】 ⑤バンク【登録:4件】【成約:3件】			
	8月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:6件】【道:8件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:1件】			
	9月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新 ⑤空き家バンク制度運営	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:2件】【道:10件】【フェア:9件】 県主催の移住フェアに参加し、移住相談の実施及び町のPRを行った。 ⑤バンク【登録:5件】【成約:6件】			
	10月		③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:2件】 ④相談【企:4件】【道:13件】 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】			
	11月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集 ④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新 ⑤空き家バンク制度運営	③お試し住宅【利用:1件】(10月に引き続き)、ツアー【利用:2件】 ④相談【企:3件】【道:12件】【イベント:1件】 秋の陶器市にて「ましこ里山手帖」を配布。 ましこ農と食の学校主催のイベントに参加し、移住相談及び町のPRを行った。 ⑤バンク【登録:1件】【成約:2件】			
	12月		③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:2件】【道:6件】 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】			
	1月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集	③お試し住宅【利用:1件】(12月に引き続き)、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:4件】【道:5件】【フェア:13件】 「大人のつどい」にて「ましこ里山手帖」を配布。 都内開催の移住フェアに参加し、移住相談の実施及び町のPRを行った。 ⑤バンク【登録:1件】【成約:1件】			
	2月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:11件】 ⑤バンク【登録:3件】【成約:0件】			
	3月	⑤空き家バンク制度運営	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:9件】 ⑤バンク【登録:5件】【成約:4件】 空き家所有者向けに、バンクの登録勧奨を目的としたアンケート調査を実施した。(現在回収・集計中)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>③お試し住宅は、令和4年1月から4月までの4か月間は利用者がなかったが、5月以降は順当に予約を受け付けている。また、オーダーメイドツアーも5月以降は利用者がおり、人の流れが戻りつつあると思われる。移住促進のための具体的な方策として、取組を継続したい。</p> <p>④移住相談は、R1年度以降の傾向として道の駅での相談件数が伸びている。本年度は、地方移住への関心の高まりのせい相談件数が大きく伸びた昨年度ほどには至らなかったが、それでも令和2年度以前よりも多くの相談を受け付けている。移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4～6月)】H29:27、H30:25、R1:32、R2:30、R3:58、R4:40 ワンストップサイトは随時更新を行ってきた。今後もまちの魅力の発信に資する情報を迅速に掲載していく。</p> <p>⑤空き家バンクは、R1年度から固定資産税納税通知書にチラシを同封して周知を進めており、相談者数は堅調に推移しているため一定の成果を上げていると思われるが、一方、老朽化が進んだ家屋や進入路が確保できない土地等、登録困難な物件に関する相談も増えている。また、優良な物件は早期に成約となり、登録物件の充実が課題となっているため、優良な物件の掘り起こしに努めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>③お試し住宅は毎月順当に予約を受け付け、上半期は合計5件の利用があった。また、オーダーメイドツアーについては、8月に利用があった。移住促進のための具体的な方策として、取組を継続したい。</p> <p>④移住相談は、引き続き道の駅での相談件数が伸びている。さらに、9月には3年振りのリアル開催となった移住フェアに参加し、9件の相談を受けた。 【企画課・道の駅での相談件数(4～9月)】H29:59、H30:47、R1:47、R2:56、R3:103、R4:85 ワンストップサイトでは、移住フェアへの参加やwebメディアへの掲載報告の情報発信を行った。今後も様々な情報発信を通じてサイトの活性化に努めていきたい。</p> <p>⑤空き家バンクの実績は、第1四半期は成約2件・登録4件であったのに対し、第2四半期は成約10件・登録10件と、件数が大きく伸びた。H28年の制度開始からR4年9月末時点までの実績の合計は成約87件／登録110件と、成約率は7割超となっており、制度の周知が進んでいるとともに、有効活用されているといえるため、引き続き運用していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>③お試し住宅及びオーダーメイドツアーは、共に利用件数が順調に増加している。具体的な移住促進策として、今後も取組を継続するとともに、制度の周知を進め、利用件数を伸ばしていきたい。</p> <p>④移住相談は、第1・2四半期と同様に道の駅での相談件数が伸びているため、引き続き取組を続けていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4～12月)】H29:75、H30:65、R1:68、R2:90、R3:154、R4:125 ワンストップサイトでは、第2四半期に実施したオーダーメイドツアーのレポート記事やまじこ農の学校に関する記事等、本町独自の移住支援の取組を紹介する記事を掲載した。今後も様々な情報発信を通じてサイトの活性化に努めていく。</p> <p>⑤空き家バンクの実績は、第2四半期は成約10件／登録10件だったのに対し、第3四半期は成約2件／登録5件と伸び悩んだ。相談者数は堅調に推移しているが、登録困難な物件の相談も多い。また、物件の状態や権利関係の確認及び協力業者の選定により、登録までに時間を要するケースも増えている。優良な物件の発掘に向けた調査を進めると共に、不動産業者と連携を密にして迅速な対応に努めたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>③お試し住宅は2件の利用があった。次年度も取組を継続し、より多くの方に移住体験の機会を提供出来るよう、利用希望者の増加に期待したい。オーダーメイドツアーは、第4四半期での利用はなかったものの、問い合わせ数が徐々に増えてきており、制度周知が進んでいる。今後も更なる周知に努め、利用件数を増やしていきたい。</p> <p>④移住相談は企画課・道の駅ともに、昨年度から件数は減少したものの、R2以前と比較すると、依然として高い件数を維持した。 【企画課・道の駅での相談件数(4～3月)】H29:98、H30:91、R1:87、R2:127、R3:198、R4:160】 ワンストップサイトでは、リアル開催のイベント案内やウェブメディアの取材記事等の情報発信を行った。今後も様々な情報発信を通じてサイトの活性化に努め、サイト来訪者の増加を図っていく。</p> <p>⑤空き家バンクは、制度開始(H29.2月)以降、年間では一定の登録数及び成約数を維持できており、制度の周知・活用が進んでいるといえる。また、3月には、空き家所有者向けにバンク登録勸奨を目的としたアンケート調査を実施した。次年度は、アンケート集計結果等も参考にしながら、空き家・空き地の有効活用を更に促進していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>全期</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 人口動態の数に関しては、長い目で見て継続が必要であらうと思う。</p>	<p>いただいたご意見も踏まえ、第4四半期の③欄のとおり進めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる		政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現			
施策	若者のUJJターンの推進		進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」		関連するSDGs	—			
KPI	人口の社会動態(20~30代)		本年度目標値	△75	現状値	△30	人
KPI			本年度目標値		現状値		
KPI			本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な 取組 内容	4月		未実施				
	5月	-	未実施				
	6月		未実施				
	7月		未実施				
	8月	②二十歳のつどい実行委員会にて、実行委員趣旨の説明	②8/15二十歳のつどい実行委員会 15名				
	9月		未実施				
	10月		未実施				
	11月	②25歳同窓会補助金要綱を策定	未実施				
	12月		②25歳同窓会補助金要綱を検討				
	1月		②1/7二十歳のつどいリハーサル 実行委員13名 ②1/8二十歳のつどい 参加者174名 ②25歳同窓会補助金要綱を検討				
	2月	②二十歳のつどいにて、成人者に趣旨の説明	②25歳同窓会補助金要綱を検討				
	3月		②25歳同窓会補助金要綱を検討				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>②Uターン意識の醸成を図る取り組みの検討が必要である。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>②実行委員に県外在住者も多くお盆帰省時に実行委員会を開催。Uターン意識の醸成を図る取り組みの検討が必要である。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>②全国の事例等を参考に要綱を検討しているが、全国的に事例が少なく、益子町にあった要綱を検討している。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②二十歳のつどい 成人者243名の内、当日参加者174名(出席率71.6%)。25歳同窓会補助金要綱の作成は、全国的に事例が少なく、益子町にあった要綱を検討している。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 県外へ出ても同級生とつながり続ける仕組みや補助金などの利用で定期的な同窓会開催は、帰省・ふるさとを見直すきっかけとなると思うので、今後に期待する。</p>	<p>同様な補助制度を実施している自治体の事例等を参考にするとともに、二十歳のつどい実行委員等を中心に意見等を伺い、益子町にあった要綱等の作成を検討する。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進			
施策	ライフステージに応じた健康づくりの推進	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉			
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.8	現状値	11.6	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①4月上旬、健診対象者への個別通知にて、受診勧奨 前年度までの実績による対象者: 新規40歳対象者:294名 肝炎対象者: がんクーポン対象:乳(139名)子宮(80名) *対象に合わせ、勧奨通知の工夫を実施 ②健康デー 33名 個別栄養相談 名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	5月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着	①集団健診5/10(火)102名 5/22(日)92名 5/28(土)69名 ②健康デー 34名 個別栄養相談 名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	6月		①集団健診6/29(水)140名 結果説明会 6月14日(金)33名 ②健康デー 24名 個別栄養相談 名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	7月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①集団健診7/6(水)159名 7/7(木)158名 7/15(金) 161名 7/23(土)163名 7/30(土)179名 結果説明会 7/2(土) ②健康デー 7/12 46名 個別栄養相談 7名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	8月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着	①集団健診8/2(火)153名 8/5(金)118名 8/8(月)154名 8/23(火)147名 結果説明会 8/10(水) 8/18(木) ②健康デー 8/9 35名 個別栄養相談 2名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	9月		①集団健診9/25(日)188名 9/27(火)155名 結果説明会 9/3(土) 9/6(火)9/9(金) ②健康デー 9/13 40名 個別栄養相談 3名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	10月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①集団健診10/9(日)168名 10/12(水)155名 10/13(木)173名 10/27(木)142名 10/28(金)143名 結果説明会 10/30(日) ②健康デー 10/18 45名 個別栄養相談 7名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	11月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着	①集団健診11/5(金)157名 11/9(水)150名 11/22(火)169名 11/25(金)137名 結果説明会 11/1(火) 11/13(日) 11/17(木) ②健康デー 11/15 44名 個別栄養相談 2名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	12月		①集団健診 12/7(水)173名 12/11(日)162 12/15(木)138名 結果説明会 12/1(木) 12/17(土) 12/23(金) ②健康デー 12/6 37名 個別栄養相談 3名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	1月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	① 結果説明会 1/11(水) 1/15(日) 1/24(火) AM PM ②健康デー 1/17(火) 46名 個別栄養相談 2名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	2月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着	②健康デー 2/14(火)43名 個別栄養相談 7名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	3月		②健康デー 3/14(火) 37名 個別栄養相談 2名 ③ましこっと体操の普及啓発(ポスター掲示)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整をし、開催(3密を防ぐための受付時間の振り分けや、マスク着用の徹底、消毒の徹底等)健診勧奨資材は、対象に合わせて内容を工夫。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもっていただけるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。受けて終わりではなく、その後、健康にな体づくりをする為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整をし、開催(3密を防ぐための受付時間の振り分けや、マスク着用の徹底、消毒の徹底等)健診勧奨資材は、対象に合わせて内容を工夫。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもっていただけるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。受けて終わりではなく、その後、健康にな体づくりをする為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整をし、開催(3密を防ぐための受付時間の振り分けや、マスク着用の徹底、消毒の徹底等)健診勧奨資材は、対象に合わせて内容を工夫。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもっていただけるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。受けて終わりではなく、その後、健康にな体づくりをする為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整をし、開催(3密を防ぐための受付時間の振り分けや、マスク着用の徹底、消毒の徹底等)健診勧奨資材は、対象に合わせて内容を工夫。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもっていただけるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。受けて終わりではなく、その後、健康にな体づくりをする為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 町民全体の健康寿命向上のため、継続を希望する。</p>	<p>町民のニーズに寄り添いながら、町民全体の健康維持の為に創意工夫をこらした活動をしていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実			
施策	住み慣れた地域で暮らすための支え合いと地域福祉の推進	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉			
KPI	地域ぐるみの生活支援組織づくり	本年度目標値	1	現状値	0	組織
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①社会福祉協議会や民生委員児童委員、自治会などによる助け合いのあり方の検討 ②住民参加型の生活支援事業の制度等の検討 ③ひきこもり家庭の相談窓口の検討 ④命の大切さの普及啓発	①4/15民児協定例会において県・町・社協の福祉事業の周知 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	5月		①5/26自治会長会議において民生委員児童委員候補者推薦依頼 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	6月		①民生委員児童委員候補者推薦者35/44名(ほか主任児童委員3名) ②6/14地域ぐるみの生活支援組織づくりに関する打合せ ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	7月		④普及啓発として予防接種会場等でパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	8月	①民生委員児童委員の推薦会開催 ④命の大切さの普及啓発	①民生委員児童委員推薦調書提出45/47名 ④普及啓発として予防接種会場等でパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	9月		④普及啓発として各課窓口や健康教室等でもパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。ポスター貼付し普及啓発を強化した。			
	10月		④10/25食生活推進員対象に、ゲートキーパー養成講座を実施した。			
	11月	④命の大切さの普及啓発	①福祉まつりで、民生委員児童委員の活動PRのためにポスター掲示、ウェットティッシュ配布を行った。 ④健康まつりで、普及啓発のためにポスター貼付、パンフレットやポケットティッシュを配布した。			
	12月		④普及啓発としてパンフレット・ポケットティッシュ等配布した。			
	1月		④思春期教室で、中学2年生を対象に命の大切さについての講話を行った。			
	2月	④命の大切さの普及啓発	④思春期教室で、中学3年生を対象に命の大切さについての講話を行った。 ④益子町役場職員(会計年度職員等を含む)を対象に自殺対策に係る人材育成研修会を開催した。 令和5年2月2日(木)午後1時～2時30分 3時～4時30分 令和5年2月3日(金)午後1時～2時30分 午後3時～4時30分 4クール90分講話で実施 139人参加			
	3月		④自殺対策強化月間で、保健センターや各課窓口ポケットティッシュやパンフレット、のぼり旗を作成・掲示して普及啓発に力を入れた。			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①民生委員児童委員の一斉改選のための推薦会までに候補者推薦書の提出をお願いする。</p> <p>②地区別戦略において生活支援組織づくりを検討していく。</p> <p>③福祉に関する総合窓口の中での対応を基本として検討していく。</p> <p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場でボールペンやティッシュ等の配布を行っている。7月以降も継続して啓発を行っていく予定。自殺予防月間及び週間にはより力を入れていく。(9月、3月)</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①欠員となっている地区(2名)の候補者推薦を引き続き依頼する。</p> <p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場・健康まつりでボールペンやティッシュ等の配布し、継続して啓発を行っていく予定。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場や窓口で引き続きティッシュやパンフレット等の配布し、継続して啓発を行っていく予定。3月は自殺対策強化月間であるため、より力を入れて普及啓発をしていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①②コロナにより地域力が落ちて地区別戦略が先送りとなったので、地域福祉計画のなかで再検討していく。</p> <p>④自殺予防週間(9月)や自殺対策強化月間(3月)を中心に、引き続き住民に広く普及開発を行っていく。</p> <p>④多くの職員に参加していただいたので、窓口業務等業務に活かしていただきたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 職員のスキルアップを図る研修実施により、町民へ還元していく取り組みはととも良い。</p>	<p>①②社会福祉協議会と協力して地域福祉を推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	高齢者支援課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実			
施策	高齢者の生きがいづくりの推進	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉			
KPI	介護予防教室及び高齢者サロン参加者実人数	本年度目標値	359	現状値	279	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月			①補助金交付【サロン:7団体】 ④いきいきクラブ連合会・総会【クラブ:16団体】、いきいきクラブ・福祉バス利用【クラブ:1団体2回】、クラブ活動に関する相談と支援対応。シルバー人材センターへウッドチップの貸与 ⑤関係各課・関係機関と連携		
	5月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進		①新規サロン相談 ④いきいきクラブ・福祉バス利用【クラブ:5団体】、クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センターへ補助金の交付・ウッドチップの貸与		
	6月			①新規サロン設立記念イベント。健康講話・活動状況確認④いきいきクラブ・補助金交付【クラブ:16団体】、福祉バス利用【クラブ:2団体】、真岡線相互利用事業【クラブ:3団体】、クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センターへウッドチップの貸与		
	7月			①新規サロン開設 補助金交付【サロン:1団体】 ④いきいきクラブ連合会単体会長会議【クラブ:14団体】、真岡線相互利用事業【クラブ:3団体】、クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センターと事務等の打ち合わせ		
	8月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進		①コロナウイルス感染防止のため教室・サロンを休止 ④いきいきクラブへ「BA.5対策強化宣言」に係る注意喚起(通知)【クラブ:16団体】、クラブ活動等に関する相談対応。シルバー人材センターと意見交換・打ち合わせ		
	9月			①感染対策の確認。新規運動教室の実施 ④いきいきクラブへ「BA.5対策強化宣言」の延長に係る注意喚起(通知)【クラブ:16団体】、福祉バス利用【クラブ:2団体】、敬老のつどい参加【申込クラブ:14団体】。シルバー人材センターと意見交換・打ち合わせ、ウッドチップの貸与		
	10月			①感染対策の確認。新規運動教室の実施 ④「BA.5対策強化宣言」終了及び警戒レベル2への維持についての連絡と注意喚起通知【クラブ:16団体】、福祉バス利用【クラブ:4団体】、真岡線相互利用事業【クラブ:1団体】。シルバー人材センターと意見交換		
	11月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進		①感染対策の確認。新規運動教室の実施 ④福祉バス利用【クラブ:4団体】。新型コロナ・インフルエンザの同時流行に備えての注意喚起通知(クラブ:16団体)、クラブ活動等に関する相談対応。シルバー人材センターと打ち合わせ、ウッドチップの貸与		
	12月			①感染対策の確認。新規運動教室の実施 ④いきいきクラブへ「年末年始の過ごし方について」のお願い(クラブ:16団体)。活動等に関する相談対応。シルバー人材センターと意見交換、ウッドチップの貸与		
	1月			①感染対策の確認。自主教室支援 ④福祉バス利用【クラブ:1団体】。R5年度町有バスとの変更点と利用希望日調査【クラブ:16団体】、自治会への協力をお願い【自治会長会議時、全自治会長】		
	2月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進		①感染対策の確認。自主教室支援 ④来年度の町有バス利用についての問合せ等		
	3月			①感染対策の確認。新規サロンの相談 ④シルバー人材センターと打ち合わせ、意見交換。ウッドチップの貸与		

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①6月末サロン・教室参加実人数261名(うちサロン96名、介護予防教室68名、自主教室97名) 新規サロンについては、7月開設予定を目指し、相談支援をおこなった。ボランティアと参加者の募集のためオープンイベントを実施した。サロン7団体に対して、運営費補助として補助金を交付した。 ④社会福祉協議会でいきいきクラブ連合会総会を開催(単位クラブ16団体出席)。また、真岡線相互利用事業や町福祉バス利用についての相談や、今後の活動について社会福祉協議会と連携し相談と支援を行った。また、活動支援のひとつとしていきいきクラブに補助金を交付。新型コロナウイルス感染症の警戒度も下がったこともあり、いきいきクラブ活動が活発になると思われるので、今後も社会福祉協議会や関係各所と連携し随時相談と支援を行っていく。シルバー人材センターと情報交換等の打ち合わせを実施した。 ⑤関係各課・関係機関と連絡を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①9月末サロン・教室参加実人数266名(うちサロン89名、介護予防教室62名、運動教室18名、自主教室97名) 7/13新規サロン開設(9名参加)。8月は、県の「BA.5対策強化宣言」と町内のコロナウイルス感染状況を踏まえ、教室・サロンの活動を休止した。9月は感染対策がとれる会場については、活動を再開している。活動休止の期間が増えると身体機能が低下する恐れがあるため、今後も感染予防対策を行い、安心して参加できるよう支援していく。 ④社会福祉協議会でいきいきクラブ連合会単体会長会議を開催(単位クラブ16団体のうち14団体出席)。連合会事業(スポーツ大会等)の打合せや、9月の敬老のつどい参加についての連絡などが行われた。また、熱中症対策として、各単位クラブに会員分のリーフレットを配布し注意喚起を促した。その後、町福祉バスの乗車定員制限についてや、「BA.5対策強化宣言」の発出と延長についての注意喚起を行った。気温が高い日が続いたことから、定例会や定期活動以外の活動を控えるクラブが多く、結果的には感染リスクが高くなる行動や場所への移動は抑えられたと思われる。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、国・県の対策について情報を提供するほか、社会福祉協議会や関係各所と連携し随時支援を行っていく。また、シルバー人材センターと情報交換等の打ち合わせを実施した。シルバー人材センターの事業収入の増加・健全な経営につながるよう引き続き支援していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①12月末サロン・教室参加実人数279名(うちサロン96名、介護予防教室62名、運動教室18名、自主教室103名) コロナウイルス感染予防対策を行いながら、各種教室を継続した。今後も感染予防対策を行い、安心して参加できるよう支援していく。 ④新型コロナウイルス感染症に係る通知を複数回行い、引き続き感染症対策を徹底していただけるように注意喚起を行った。町福祉バスについては感染症を警戒して利用中止としたクラブもあった。また参加者が少数しか集まらないとの相談を受けたが、予約日の変更や他クラブとの合同開催を提案し利用推進を図った。なお、福祉バスの予約状況によっては利用できることを説明したところ、年明けに予約をした団体があった。今冬は季節性インフルエンザも同時流行する可能性が高いため、新型コロナ・インフル同時流行に備えるように注意喚起を行い、年末年始の過ごし方についても同様の通知を送付した。今後も感染症の動向について国・県からの情報提供や社会福祉協議会等関係機関と連携し、随時相談・支援を行っていく。また、シルバー人材センターと意見交換等を実施した。シルバー人材センターの事業収入の増加・健全な経営につながるよう引き続き支援していく。 ⑤関係各課・関係機関と連絡を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①3月末サロン・教室参加実人数279名(うちサロン105名、介護予防教室60名、自主教室114名) コロナウイルス感染予防対策を行いながら、各種教室を継続した。今後も基本的な感染予防対策を行い、安心して参加できるよう支援していく。 ④福祉バス利用について、福祉バスの予約が空いている1月に1クラブが利用した。令和5年度より町有バスが1台となることから、変更点(利用回数・乗車定員・行き先の制限等)の説明と利用希望日の調査を全クラブに対して行った。また、1月の自治会長会議時の案件で「いきいきクラブの現状 自治会内の協力をお願い」の資料を配布し、自治会の皆さんにいきいきクラブ運営の協力・支援などをお願いした。年々、クラブ数・クラブ員数ともに減少傾向にあるが、今後も社会福祉協議会や関係各所と連携し、随時相談・支援を行っていききたい。シルバー人材センターの事務局や理事長と意見交換等を実施した。シルバー人材センターの事業収入の増加・健全な経営につながるよう引き続き支援していく。 ⑤関係各課・関係機関と連絡を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努めた。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 各地区のサロンの活発化、またシルバー人材センターでいきいきと活躍できる高齢者が増加することを期待する。</p>	<p>サロンを運営するボランティアを支援するとともに参加者数が増加するよう周知方法の検討をしていく。また、シルバー人材センターの会員が増加するように、センターと共に広報活動などに取り組んでいく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実			
施策	障がい者の自立と安心して暮らせるまちづくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉	10平等		
KPI	芳賀郡障害児者相談支援センター新規相談者数(益子町在住者)	本年度目標値	24	現状値	14	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ④障がい者優先調達方針を定め、年間の調達目標を設定した。			
	5月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	6月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	7月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	8月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	9月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	10月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	11月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	12月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	1月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	2月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			
	3月		①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もある。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もあるため、次四半期においても大きな課題となる。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。</p> <p>④来年度の優先調達を促進するため、各事業所が取り組んでいる作業等をまとめたリーフレットを予算編成に併せて各課に提供する。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もあるため、次四半期においても大きな課題となる。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っており、連携は問題なく行えた。 しかし、障がい福祉サービスに関する地域資源不足の解消には時間がかかることから、ニーズの掘り起こしを丁寧に行い、事業者へフィードバックを行うことが重要であると考えた。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会が主催する研修等への参加をとおり、事業の必要性や障がい特性などの理解を深めることができた。</p> <p>④令和4年度中に調達した物品役務を集計し、次年度当初の計画策定に向けた情報収集を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 障がい者が安心して暮らせるように相談支援センターとの連携、協力体制整備を継続していただきたい。</p>	<p>①②③④⑤障がい福祉計画や自立支援協議会等により、引き続き各機関と連携・協力のもと支援に努めていきたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実			
施策	生活に困ったときの支援や自立の推進	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	1 貧困	3 健康・福祉		
KPI	福祉に関する総合窓口の設置	本年度目標値	0	現状値	0	—
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	5月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	6月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	7月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	8月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	9月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。 ③県が主催する研修会に参加し、窓口設置の重要性を再確認した。			
	10月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	11月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯等臨時特別給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	12月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、価格高騰緊急支援給付金の支給、自立相談などの支援を行った。 ③県が主催する研修会に参加し、窓口設置の重要性を再確認した。			
	1月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、非課税世帯を対象とする価格高騰緊急支援給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			
	2月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、価格高騰緊急支援給付金の支給、自立相談などの支援を行った。 ③県が主催する研修会に参加し、窓口設置の重要性を再確認した。			
	3月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、価格高騰緊急支援給付金の支給、自立相談などの支援を行った。			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。 ③県が主催する研修会等に積極的に参加しているが、設置の方向性を見いだせない。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。 ③設置することによるメリット・デメリットを検証し、設置に向けた具体的な話し合いを継続する。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。 ③県が主催する研修会に参加し、他市町の動向について確認を行った。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 (第 4 四 半 期 含)</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力することができた。 ②国・県の制度に基づく支援策を適切な時期に提供することができた。 ③他市町の動向について確認を行うと共に、行政改革推進委員会に窓口設置の重要性について提案を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 社会福祉協議会と連携を強化し進めていけるようお願いしたい。</p>	<p>①②③社会福祉協議会とともに地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定して連携を強化し、生活に困ったときの相談・支援体制を整えたい。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	環境課					
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる		政策	美しい里山・きれいなまちの推進				
施策	脱炭素・脱プラスチック社会の推進		進捗状況	100%				
関連する優先目標	2「住みたいまち」		関連するSDGs	7エネルギー	12つくる・つかう責任	13気候変動	14海の豊かさ	15陸の豊かさ
KPI	町内電気自動車等保有台数		本年度目標値	69	現状値	80	台	
KPI			本年度目標値		現状値			
KPI			本年度目標値		現状値			
①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果				
主な 取組 内容	4月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進		②太陽光発電、蓄電池充電器設置、V2H、バイオマスストーブ等の補助について申請受付を開始。 ⑥木質バイオマスストーブ申請1件				
	5月	③町内事業者によるRE100の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。		②気候変動への適応に関する研修会の参加5/17				
	6月	⑥木質バイオマスのエネルギーの新しい利用方法を検討。		②栃木県地球温暖化防止活動センター事業説明会の参加6/29 ②蓄電池設置申請1件				
	7月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進		②気候変動適応に関する意見交換会参加7/13				
	8月	③町内事業者によるRE100の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。		②太陽光発電システム設置申請1件、蓄電池設置申請1件				
	9月	⑥木質バイオマスのエネルギーの新しい利用方法を検討。		②地域脱炭素化に向けたプラットフォーム会議参加9/1 持続可能なまちづくり講演会に向けた準備				
	10月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進		②持続可能なまちづくりに向けた講演会10/18 ②太陽光発電システム設置申請3件、蓄電池設置申請4件 ⑥木質バイオマスストーブ申請1件				
	11月	③町内事業者によるRE100の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。		②太陽光発電システム設置申請4件、蓄電池設置申請5件 ②町民まつりでの太陽光発電等のPR活動11/19 ⑥木質バイオマスストーブ申請2件				
	12月	⑥木質バイオマスのエネルギーの新しい利用方法を検討。		②省エネ家電製品購入費補助金交付申請受付開始(12/28現在、交付決定数40件)				
	1月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進		②「持続可能な発展を目指す自治体会議」のweb会議(1/27)省エネ家電製品購入費補助金交付申請受付開始(1/31現在、交付決定数143件)				
	2月	③町内事業者によるRE100の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。		②第4回地域脱炭素化に向けたプラットフォーム会議参加(2/28)省エネ家電製品購入費補助金交付申請受付開始(2/16現在、交付決定数188件) 交付終了				
	3月	⑥木質バイオマスのエネルギーの新しい利用方法を検討。		⑥木質バイオマスストーブ申請1件				

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、補助金等の活用がより有効と思われる。栃木県内で電気自動車購入費用への補助金を補助しているのは日光市1市のみであるため検討していく。また、充電施設に関しても、昨年のみちの駅まじこでの充電実績が県内でも上位であり、関心が高いと思われることから、公共施設でへの施設の設置や町民間活力に期待しながら、現在4基ある充電施設を増やす取り組みを検討していくことが課題である。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル、蓄電池、ペレットストーブ等の設置補助を行い、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。特に今後電気自動車の普及が予想されることから給充電施設(V2H)の補助についてPRを行う。</p> <p>③RE100宣言 については、取り組み自体が大掛かりなことからどのような形での導入が町に適するか内容を検討していく。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用に関するシステムについては、他の先進事例等を参考に検討する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、補助金等の活用がより有効と思われる。電気自動車購入費用への補助金を検討していく。また、公共施設でへの施設の設置や町民間活力に期待しながら、現在4基ある充電施設を増やす取り組みを検討していくことが課題である。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル、蓄電池、ペレットストーブ等の設置補助を行い、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。特に今後電気自動車の普及が予想されることから給充電施設(V2H)の補助についてPRを行っていく。</p> <p>③RE100宣言 については要件が高く自治体単体では難しく、企業とのつながりが必要であるため、どのような導入が町に適するか内容を検討していく。また、太陽光発電の増加に関して里山景観との兼ね合いもあり課題となる。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用に関するシステムについては、環境基本策定推進委員会の中でも提起されており、間伐材等の情報を収集していく方法を検討する。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、補助金等の活用がより有効と思われる。電気自動車購入費用への補助金を検討していく。また、公共施設でへの施設の設置や町民間活力に期待しながら、現在4基ある充電施設を増やす取り組みを検討していくことが課題である。また今後、電気自動車の増加を推進することから補助金等も検討すべきと考える。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル、蓄電池、V2H、ペレットストーブ等の設置補助を行い、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。特に、蓄電池への関心が高まっていることから、個人住宅の自家消費型の太陽光蓄電池の申請が多くなってきており、補助金を増やすなどの支援が必要となってくる。町民の脱炭素社会に対する意識の向上を図るため持続可能なまちづくりに向けた講演会を行った。今後、「持続可能な発展を目指す自治体会議」との連携を取りながら、益子町らしいまちづくりを目指し検討していく。また、臨時交付金を活用した省エネ家電製品購入費補助交付事業を行い、省エネ家電の購入によるCO2の削減を支援していく。</p> <p>③RE100宣言 については世界的に認知されている、100GWh以上を消費する企業等の要件があり、企業とのつながりが必要である。そういう企業とのつながりをどのように持っていくかが課題であり、導入する場合、町に適するか内容を検討していく。 また、太陽光発電の増加に関して里山景観との調和もあり課題となる。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用については、環境基本策定推進委員会の中でも提起されており、間伐材等利活用の情報を収集し、検討していく。</p> <p>⑥木質倍バイオエネルギーの新しい利用については、県内での状況を確認しながら丈夫を収集していく。また、個人の木質バイオストーブの補助は今後も継続していく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、補助金等の活用がより有効と思われる。電気自動車購入費用への補助金を検討していく。また、公共施設でへの施設の設置や町民間活力に期待しながら、現在4基ある充電施設を増やす取り組みを検討していくことが課題である。県内でも電気自動車購入補助を行っている自治体も増えてきていることからの増加を推進のため補助金等を検討すべきである。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル、蓄電池、V2H、ペレットストーブ等の設置補助を行い、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。特に、蓄電池への関心が高まっていることから、個人住宅の自家消費型の太陽光蓄電池の申請が多くなってきており、補助金を増やすなどの支援が必要となってくる。「持続可能な発展を目指す自治体会議」のweb会議に参加し、情報の交換等を行った。臨時交付金を活用した省エネ家電製品購入費補助交付事業を行い、申請、交付決定188件となり、事業期間内に完了した。</p> <p>③RE100宣言 については世界的に認知されている、100GWh以上を消費する企業等の要件があり、企業とのつながりが必要である。そういう企業とのつながりをどのように持っていくかが課題であり、導入する場合、町に適するか内容を検討していく。 また、太陽光発電の増加に関して里山景観との調和もあり課題となる。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用については、環境基本策定推進委員会の中でも提起されており、間伐材等利活用の情報を収集し、検討していく。</p> <p>⑥木質倍バイオエネルギーの新しい利用については、県内での状況を確認しながら情報を収集していく。また、個人の木質バイオストーブの補助は今後も継続していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 町民の意識向上のため、啓発活動も継続していく必要がある。</p>	<p>①保有台数を増加させるための、設備導入や補助金制度など、他の自治体などから情報収集し、導入の検討をするとともに、啓発活動についても継続していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	環境課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進			
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ			
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	40	現状値	41	ヶ所
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	77	現状値	77.9	%
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月		①②森林・多面的機能発揮対策事業書類作成補助 ③前沢町有林維持管理業務委託の業務設計積算			
	5月	①②里山林整備に向けた整備個所及び地元合意形成状況の把握	①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業交付申請 ①②益子花の会下刈作業に参加。5/22 ③前沢町有林維持管理業務委託入札の実施			
	6月	③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施	①②益子花の会下刈作業に参加。6/26 ③前沢町有林維持管理業務委託契約(芳賀森林組合)前沢町有林の山ザクラの管理について県のグリーンアドバイザーと現地確認を行った。6/13 ④森林環境譲与税に関する栃木県との打ち合わせ6/17 アカマツ復活プロジェクト(ましこの森個所)下刈り作業に参加。6/19 アカマツ復活プロジェクト 益子里山の会と打ち合わせ6/24 森林環境譲与税に関する県東地域連絡会議6/27			
	7月	①②里山林整備に向けた整備個所及び地元合意形成状況の把握	①②里山整備事業に関する団体との打ち合わせ7/1 ③前沢町有林遊歩道、駐車場の草刈り ④アカマツ復活プロジェクト七井小打合せ7/14 日光森林管理署来庁打合せ7/27			
	8月	③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施	④林業省力化ドローン研修参加8/9			
	9月		④森林環境譲与税使途に係る県との打ち合わせ9/6			
	10月		④森林環境譲与税に関する県との打合せ10/21			
	11月	①②里山林整備に向けた整備個所及び地元合意形成状況の把握 ③前沢町有林の整備の検討	①②森林・山村多面的機能発揮対策事業実施団体との打合わせ ①②里山整備林事業実施完了個所の確認検査4ヶ所 ④森林環境譲与税関係の研修会11/28			
	12月	④森林環境譲与税に関する事業の実施	③前沢町有林維持管理業務の完了12/6 ④森林管理制度集積計画業務委託の契約12/9 ④アカマツ復活プロジェクト(七井小)間伐作業の実施12/15			
	1月	①②里山林整備に向けた整備個所及び地元合意形成状況の把握	①②森林・山村多面的機能発揮対策事業実施団体完了検査(益子花の会)1/10(小泉里山の会)1/25 ①②里山整備林事業実施完了個所の確認検査4ヶ所 ③前沢町有林ランドスケープ現地調査(1/19) ④森林環境譲与税関係の研修会(1/24) ④アカマツ復活プロジェクト(七井小)植林作業打合せ(1/24)			
	2月	③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施	①②里山整備林事業実施完了個所の確認検査4ヶ所 ④アカマツ復活プロジェクト(七井小)植樹作業の実施(2/8) ④とちぎ森林管理推進協議会(2/16)			
	3月		①②里山整備林事業実施完了個所の確認検査2ヶ所 ④県東管内市町・森林組合会議(3/9)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、益子花の会の円道寺池周辺整備、小泉里山の会についても、里山保全に向けた活動を行っており引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。また今後、多面的機能発揮対策事業に関心を持っている団体もあり、活用していけるように話し合いを継続する。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業については、里山林整備の新規分2.0ha、継続分73.5haを予定している。新規地区には整備団体との打ち合わせをスムーズに行い、支援をしていく。</p> <p>③前沢町有林に関しては、山ザクラの育成管理についての話も出ていることから、県のグリーンアドバイザーに現地を確認、アドバイス等をいただいた。面積や、土質の件もあり、今後の育成(エアレーションと追肥)が検討課題である。</p> <p>④森林環境譲与税に関する事業について県と打ち合わせを行った。森林環境譲与税の活用について今後県と連携しながら可能な事業を検討していく。 アカマツ復活プロジェクトについては、小学生の間伐作業や枝打ち体験及びアカマツ植栽事業を予定しており、森林環境譲与税を活用した事業を実施する。また、今後町内に残されたアカマツ林の保全保存のための管理を検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、益子花の会の円道寺池周辺整備、小泉里山の会についても、里山保全に向けた活動を行っており引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。また今後、多面的機能発揮対策事業に向けた団体との話し合いを行っていく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業については、今後交付期間の延長の可能性もあり、県の動向を見ながら調整をしていく。</p> <p>③前沢町有林に関しては、7月に遊歩道、駐車場の草刈りを行った。森林環境譲与税を活用できることから、今後の遊歩道の整備等を検討をしていく。</p> <p>④森林環境譲与税に関する事業について県と打ち合わせを行った。森林環境譲与税の使い方について今後県と連携しながら可能な私有林管理や、施設の木材化等の事業を検討していく。 アカマツ復活プロジェクトについては、小学生の間伐作業や枝打ち体験及びアカマツ植栽事業を予定しており、森林環境譲与税を活用した事業を実施する。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、益子花の会の円道寺池周辺整備、小泉里山の会についても、里山保全に向けた活動を行っており、引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。また今後、多面的機能発揮対策事業に関心を持っている団体もあり、活用していけるように支援を行っていく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業については、里山林整備の新規分2.0ha、継続分73.5haを予定している。現在整備を実施している団体との打ち合わせをスムーズに行い、活動を支援をしていく。また、新たな整備実施団体を掘り起こすため、PR活動を行っていく。</p> <p>③前沢町有林の維持管理業務委託が完了した。今後は引き続き、前沢町有林の維持管理を行うとともに、他の町有林についても、必要に応じ維持管理していく必要があると考える。</p> <p>④森林環境譲与税に関する事業について県と打ち合わせを行った。また、森林管理集積計画の作成委託、アンケートでの意向調査を行っている。森林環境譲与税の活用について今後県と連携しながら可能な事業を検討していく。 アカマツ復活プロジェクトについては、七井小学校の児童とアカマツの枝打、間伐を行った。2月にアカマツの苗の植樹を予定している。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、益子花の会の円道寺池周辺整備、小泉里山の会についても、里山保全に向けた活動を行っており、完了検査を実施した。また今後、多面的機能発揮対策事業に関心を持っている団体もあり、活用していけるように支援を行っていく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業については、各団体の完了検査等を行った。また、とちぎの元気な森づくり事業が継続されることとなり、今後も各団体に事業の継続をお願いしていく。</p> <p>③前沢町有林のランドスケープデザインの現地調査に同行した。今後、町有林の利用に関し、ベンチや、展望台等の意見もいただいたため検討していく。また引き続き、前沢町有林のとともに、他の町有林についても、必要に応じ維持管理していく必要があると考える。</p> <p>④森林環境譲与税に関する事業について県と打ち合わせを行った。また、森林管理集積計画の作成委託、アンケートでの意向調査を行っている。森林環境譲与税の活用について今後県と連携しながら可能な事業を検討していく。 アカマツ復活プロジェクトについては、七井小学校の児童とアカマツの苗の植樹を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 町内いろんな地区で里山整備活動が実施されていてとても良いと思う。</p>	<p>①里山整備に地元の活動は必要不可欠なので、これからも継続して支援していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進			
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ			
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	40	現状値	41	ヶ所
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	77	現状値	77.9	%
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		①おやけの里環境保全会(小宅西・舟橋)活動開始 ①4/7~4/19 確認検査(22組織) ①前年度事業実施状況報告			
	5月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ①新規地区の加入推進 ②草刈り等環境保全活動の推進	①5/11 広域組織および協議会の監査(前年度分) ①5/15 事業概要説明会(北益子自治会) ①5/20 広域組織及び協議会の総会 ②5/27 長寿命化工事 完了検査(小泉・本沼) ①5/29 事業概要説明会(芦沼自治会)			
	6月		②6/22 長寿命化工事 入札(5件) ②6/7 農道修繕工事(塙) ①6/29 県・市町担当者説明会 ①本体交付金 交付申請事務			
	7月		②長寿命化工事 完了検査(小泉・本沼、塙) ①本体交付金 交付申請業務			
	8月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②草刈り等環境保全活動の推進	①高機能草刈機導入に係るアンケート調査実施 ②長寿命化工事 完了検査(小泉・本沼、上山) ①本体交付金 交付申請業務			
	9月		①事業未実施自治会への案内チラシ回覧 ②長寿命化工事 完了検査(東田井) ①本体交付金 交付申請業務			
	10月		①10/3~10/20 中間確認検査(22組織) ①10/26 益子町環境保全広域協定運営委員会 ②長寿命化工事 設計・積算(8件)			
	11月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ①新規地区(北益子地区)の加入推進 ②農道・水路施設の長寿命化工事の設計積算及び入札	①11/8 新規組織(北益子)設立に向けた打合せ ②11/10 長寿命化工事入札(8件) ①11/24 里西環境保全会(案件説明) ②長寿命化工事 完了検査(原、上山)			
	12月		①12/6 新規組織(北益子)設立に向けた打合せ ①12/9 中間確認協議(県協議会・振興事務所) ①12/7~12/15 活動状況等展示(中央公民館) ①12/20 新規組織(北益子)設立総会 ①12/21~ 活動状況等展示(役場ロビー)			
	1月		②1月~ 長寿命化工事の間確認 ②長寿命化工事契約関係事務 ②活動エリアの見直し ①1/20 新規組織(大沢里)設立に向けた打合せ			
	2月	②多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②農道・水路施設の長寿命化工事の推進	②長寿命化工事契約関係事務 ②活動エリアの見直し			
	3月	②新規地区(芦沼地区、大沢里地区)加入推進	②長寿命化工事の完了検査(大沢、小泉・本沼、上山、長堤、栗生、前沢、下大羽、塙、星の宮、西明寺、東田井) ②3/17 県との確認検査(本体交付金・推進交付金) ①3/6,17,28 新規組織(大沢里)設立に向けた打合せ			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①北益子自治会及び芦沼自治会において、新規地区拡大に向けた事業概要説明会を実施した。北益子自治会では次年度から事業を開始する方向で話がまとまった。芦沼自治会では、まず、自治会員にチラシの個別配布等を行いながら事業の周知を図り、必要があれば再度説明会を実施することとなった。今後も目標値達成のために積極的に説明会やPR等を実施していく必要がある。</p> <p>②6月22日に長寿命化工事の入札を実施した。今回入札したのは、昨年度不調となってしまった工事5件で、いずれも落札となった。長寿命化の交付金は交付時期が12月～1月頃と遅く、工事発注のタイミングが業者の繁忙期と重なってしまうため、今後も工事が不調となった場合は次年度の早い時期に再入札を行うよう努めたい。併せて、交付決定の時期を早めるよう引き続き国・県に要望をしていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①新規地区拡大に向けた取組みとして、未実施地区内の事業実施可能な自治会(17自治会)に広報回覧を行った。</p> <p>①活動組織からの要望を受けて、高機能草刈り機導入に向けたアンケート調査を実施した。結果を取りまとめ、今後開催する運営委員会において導入の是非を含め結論を出したい。</p> <p>②長寿命化工事の完了検査を計5箇所実施した。結果はすべて良好であった。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①益子町環境保全広域協定運営委員会を3年ぶりに対面にて実施した。上程議案については全会一致で可決された。</p> <p>①中間確認協議(栃木県農地水多面的機能保全推進協議会主催)を行い、令和3年度の活動に関する書類の検査を受けたが、大きな指摘事項は無かった。</p> <p>②昨年度は業者多忙により不調となってしまった長寿命化工事の入札を、1ヶ月前倒しで実施したことにより全件落札となった。工事の進捗については町でもスケジュール管理をし、年度内の早い時期に完了できるよう、地元組織及び落札業者と情報を共有していく。</p> <p>①中央公民館の資料展示室及び役場ロビーにおいて、広報活動として保全会の活動状況等に関する展示を実施した。</p> <p>①昨年度末より新規組織立上げの協議を重ねてきた北益子において、この度設立総会の実施に至った。来年度からの活動の実施に向けて、活動エリアの選定や事業の説明を引き続き行っていく。</p> <p>②長寿命化工事の完了検査を計5箇所実施した。結果はすべて良好であった。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②1～3月にかけて、今年度分の長寿命化工事の現地中間確認および完了検査を実施した。また、3月17日に本体交付金および推進交付金に係る県の確認検査を受検した。いずれも指摘事項は無かった。</p> <p>①2月28日に活動組織研修会が開催され、冒頭に執り行われた表彰式で、小泉・本沼環境保全会が「生きもの調査マップ作りの部」において、最優秀賞を受賞した。他にも4組織が表彰された。</p> <p>①新規組織立上げについて協議を重ねてきた芦沼地区において、令和5年度から活動を開始できる見込みとなった。</p> <p>①大沢里地区の農家の方から問い合わせがあり、できれば令和5年度から本事業を導入することで地区での話し合いを進めることとなった。4月下旬～5月上旬には令和5年度の交付金要望量調査が予想されるため、それまでに活動エリアの確定および交付金の算定しておく必要がある。また、現在活動中の組織においても、来年度が活動終期であるため、令和6年度の再認定に向けて活動エリアの見直しを進める。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 新規実施地区の拡大に期待する。</p>	<p>R5年度から新たに、北益子、芦沼、大沢地区において活動が開始されたのでそのサポートを実施する。 また、R5年度で活動周期が完了し、6年度からの活動エリアの見直し等を進める。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進			
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ			
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	40	現状値	41	ヶ所
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	77	現状値	77.9	%
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	⑤花のまちづくり事業 小宅古墳群 桜・菜の花 4月 マリーゴールド育苗作業 10,000株 4月中旬～ ひまわり畑の準備 4月下旬～ 小宅古墳群看板撤去 4月 小宅古墳群テント撤去 4月 実行委員会の開催 5月 ひまわり農地転用許可申請 5月 第1回ひまわりサミット会議 5月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月 大規模ひまわり畑 播種作業 6月 ひまわり道路占用許可申請 6月(真岡土木事務所)	⑤花のまちづくり事業小宅古墳群来場者 約20,000名 小宅古墳群看板撤去 4/26 小宅古墳群テント・テーブル・イス撤去 4/26 マリーゴールド仮植作業10,000株 4/28			
	5月	ひまわり農地転用許可申請 5月 第1回ひまわりサミット会議 5月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月 大規模ひまわり畑 播種作業 6月 ひまわり道路占用許可申請 6月(真岡土木事務所)	⑤花のまちづくり事業 マリーゴールド苗配布・植栽 ひまわり農地転用許可申請 ひまわりサミット担当者会議 5/10 花のまちづくり実行委員会5/13 ひまわり道路占用許可申請(真岡土木事務所)5/27			
	6月	ひまわり道路占用許可申請 6月(真岡土木事務所)	⑤花のまちづくり事業 ひまわり打ち合わせ(上山集落営農組合)6/11 ひまわり播種作業(5ha)6/13.14			
	7月	⑤花のまちづくり事業 ひまわり間引き作業 7月 コスモス農地転用許可申請 7月 会場設営打合せ 7月 野木町ひまわりフェスティバル 7月30日 ひまわり畑準備作業 ひまわり畑の実施(8/12～8/20) かみのかわサンフラワー祭り 8月27日 コスモス道路占用許可申請 9月(真岡土木事務所) 会場設営打合せ 9月	⑤花のまちづくり事業 ひまわり間引き(5ha)7/14 野木町ひまわりフェスティバル 7/30(土)			
	8月	ひまわり間引き作業 7月 コスモス農地転用許可申請 7月 会場設営打合せ 7月 野木町ひまわりフェスティバル 7月30日 ひまわり畑準備作業 ひまわり畑の実施(8/12～8/20) かみのかわサンフラワー祭り 8月27日 コスモス道路占用許可申請 9月(真岡土木事務所) 会場設営打合せ 9月	⑤花のまちづくり事業 ひまわり祭り準備作業(8/2～) コスモス播種作業(8.5ha)8/6～ ひまわり畑の実施(8/6～8/16)41,699人来場 コスモス道路占用許可申請(真岡土木事務所)8/26 上三川町ひまわり畑見学8/27 コスモス畑打ち合わせ(8/31)			
	9月	ひまわり間引き作業 7月 コスモス農地転用許可申請 7月 会場設営打合せ 7月 野木町ひまわりフェスティバル 7月30日 ひまわり畑準備作業 ひまわり畑の実施(8/12～8/20) かみのかわサンフラワー祭り 8月27日 コスモス道路占用許可申請 9月(真岡土木事務所) 会場設営打合せ 9月	⑤花のまちづくり事業 菜の花播種作業9/1 ビオラ播種作業12,000株 9/27			
	10月	⑤花のまちづくり事業 コスモス畑準備作業 10月 コスモス畑の実施(10/1～15) ビオラ苗配布・植栽業務	⑤花のまちづくり事業 コスモス畑の実施(10/1～10/16)33,772人来場 ビオラ仮植作業10,000株 10/28			
	11月	⑤花のまちづくり事業 コスモス畑準備作業 10月 コスモス畑の実施(10/1～15) ビオラ苗配布・植栽業務	⑤花のまちづくり事業 ビオラ苗配布・植栽			
	12月	⑤花のまちづくり事業 コスモス畑準備作業 10月 コスモス畑の実施(10/1～15) ビオラ苗配布・植栽業務	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ花、絵画展示 12/3～12/25 花フェスタ 12/10 来場者約300人 ビオラ苗配布・植栽			
	1月	⑤花のまちづくり事業 コスモス畑準備作業 10月 コスモス畑の実施(10/1～15) ビオラ苗配布・植栽業務	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ用花の展示			
	2月	⑤花のまちづくり事業 第2回ひまわりサミット担当者会議 マリーゴールド播種作業 3月 小宅古墳群 桜・菜の花祭りの準備 3月	②花のまちづくり事業 大規模花畑イベント代表者会議2/28			
	3月	⑤花のまちづくり事業 第2回ひまわりサミット担当者会議 マリーゴールド播種作業 3月 小宅古墳群 桜・菜の花祭りの準備 3月	⑤花のまちづくり事業 マリーゴールド播種3/31 菜の花・桜会場準備及び広報活動3月～			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りを中止とし、播種のみ行うこととなった。 菜の花・桜も規模を縮小して開催したが、前年度よりの来場者が大幅に増えた。今後は、感染対策を徹底しながら、ひまわり、コスモスを行う。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りを中止とし、播種のみだった。ひまわり畑については、天候にも恵まれ、多くの来場者に来ていただいた。しかし、開花中、雨が降り8月13日以降駐車場が開放できなくなった。今後は感染対策を徹底しながら、コスモスを行う。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りを中止とし、播種のみだった。コスモス畑については、天気にも恵まれ昨年度より多くの来場者が来た。今後は感染対策を徹底しながら、今後も開催する。12月10日は、「ましこ花フェスタ2022」を行い、益子で生産された花の展示や花に関する絵画展、フラワーアレンジメント教室などを行い多くの来場が来た。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>⑤2月28日に大規模花畑イベント代表者会議を行い、今年度の事業報告及び次年度に向けての事業内容の検討等を行った。また、小宅地区の菜の花さくらまつりのイベント企画及び準備等を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 事業実施にも地域の方々の協力もあつてのことと思う。 コロナ明けで来場者も増加することを期待する。</p>	<p>新型コロナが5類に移行したことに伴い、来場者が増えることが見込まれる。引き続き、感染対策を行うとともに、来場者への協力等呼びかけを行っていく。また、花のまちづくりに向けて地域団体との関係を密にし、魅力あるイベントの開催に努める。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	環境課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進			
施策	ごみの資源化・減量化の推進	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	12つくる・つかう責任			
KPI	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量	本年度目標値	390	現状値	444	g
KPI	リサイクル率	本年度目標値	30	現状値	26.9	%
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付	①前年度第4四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:160t、交付件数:63件、交付金額:1,178,080円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全27t)、小型家電回収量:2.5t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):4.4t ②環境美化運動の実施:2自治会、1団体 ②不法投棄防止看板設置:星の宮			
	5月	①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全30t)、廃油回収量:0.24t ②環境美化運動の実施:43自治会、1有成会 ②不法投棄防止看板の設置:富士山、田中、青田 ②益子環境Weeksの実施(5/8、15、17、20、22)			
	6月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全27t)、小型家電回収量:2.9t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):3.6t、製品プラスチック回収量:1.9t ②益子環境Weeksの実施(6/5、17、19、26) ③社会福祉協議会と打合せを実施(6/20)			
	7月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付	①第1四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:170t、交付件数:66件、交付金額:1,240,960円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、20t(全30t)、廃油回収量:0.3t ②環境美化運動の実施:2自治会 ②不法投棄防止看板の設置:後町			
	8月	①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、23t(全34t)、小型家電回収量:2.4t、廃油回収量:0.44t、エコ土曜日(資源物回収):3.6t、製品プラスチック回収量:1.3t、食器類のリユース回収を8月から実施1.1t ③社会福祉協議会と打合せ(8/16)			
	9月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全29t)、廃油回収量:0.16t、食器類のリユース回収量0.4t ②不法投棄防止看板の設置:上大羽、小宅東 ②環境美化運動の実施:1団体 ③社会福祉協議会と打合せ(9/8)			
	10月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付	①第2四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:157t、交付件数:63件、交付金額:1,157,690円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、18t(全28t)、小型家電回収量:2.1t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):4t、製品プラスチック回収量:0.3t、食器類のリユース回収量0.2t、使用済みインクカートリッジ回収量:5.8kg ②不法投棄防止看板の設置:北中(小貝川) ③社会福祉協議会と打合せ(10/19)			
	11月	①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全29t)、廃油回収量:0.2t、食器類のリユース回収量0.3t、小型充電式電池回収量:21kg ①EM菌講習会の開催①資源物ステーション設置補助金交付:芦沼 ②不法投棄防止看板の設置:富士山(2ヶ所) ②環境美化運動の実施:31団体 ③11月及び町民まつりでフードドライブを実施 収集量:228kg			
	12月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全30t)、廃油回収量:0.22t、エコ土曜日(資源物回収):4.4t、小型家電回収量:2.3t、製品プラスチック回収量:1.4t、食器類のリユース回収量0.3t、使用済みインクカートリッジ回収量:5.2kg、小型充電式電池回収:21kg ②環境美化運動の実施:2団体 ③フードバンク(配布会)を実施:当日収集量105kg、41名に配布			
	1月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付	①第3四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:160t、交付件数:61件、交付金額:1,177,990円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全28t)、廃油回収量:0.2t、食器類のリユース回収量0.2t ①自治会長会議で資源物回収事業について説明			
	2月	①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、15t(全24t)、廃油回収量:0.22t、エコ土曜日(資源物回収):3.3t、小型家電回収量:1.5t、製品プラスチック回収量:1.3t、食器類のリユース回収量0.2t			
	3月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全28t)、廃油回収量:0.22t、食器類のリユース回収量0.7t			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①資源物回収については、令和3年度は前年度より23t増加に転じることができた。引き続き自治会や育成会に回収品目の追加を依頼し、資源物回収の利点についてもPRし、継続的に実施していただけるように努めていく。</p> <p>①6月のエコ土曜日から製品プラスチック回収の実証事業を始めたところ、1.9tのプラスチックを回収することができた。回収できる品目が追加となったことで更なるリサイクル率の向上につながるよう広報等で周知を図っていききたい。</p> <p>②環境美化運動はコロナ禍ではあったが、昨年度より多くの自治会等の協力で実施することができた。今後は個別で実施してくれるところもあるため引き続き袋等の支援をしていく。また、不法投棄防止の看板の設置については、要望が多く在庫が少なくなってしまうため、早急に予算を確保し追加で作成するように努める。</p> <p>②環境Weeksについてもコロナ禍の中無事に終了することができた。HP等で引き続きボランティア活動のPRを図り新規のボランティアと団体との橋渡しの役割を担っていききたい。</p> <p>③社会福祉協議会と今年度も実施する方向で打合せをすることができた。詳細については、打合せを重ねながら検討していききたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①8月から食器類をリユースするための回収を始めることができた。まだ使える食器類を不燃ごみとして捨てるのではなく、次の使い手に繋げることにより、ごみの排出量削減に努めていききたい。継続的に回収できるように、広報等で周知を図っていく。</p> <p>②不法投棄防止用看板の要望が多く在庫がなくなってしまうが追加で購入することができたので、引き続き自治会からの設置の要望に応じていききたい。11月には、今年度2回目の環境美化運動を予定しているため、コロナの状況に応じた実施について検討をしていく。</p> <p>②補正予算対応で不法投棄監視用カメラを2台購入することができたため、投棄の多い場所に設置し抑止に努めていききたい。</p> <p>③社会福祉協議会と連携し、11月にフードドライブを実施し町民の方より食品の提供を受けた後、12月に配布会を実施することが決定したため、広報等で広くPRを実施し町民の協力によりたくさんの方が食品が集まるように努めていききたい。また、社会福祉協議会と引き続き打合せを重ね、スムーズな開催に努めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①町民まつりで生ごみ処理事業や食器のリユース回収のPRをすることができた。町民に継続して取り組んでもらえるよう更にPRに努めていききたい。また、生ごみ堆肥化につながるEM菌講習会の開催や小型家電の回収方法について11月号広報誌に掲載することができた。</p> <p>②今年度2回目の環境美化運動もコロナ禍ではあったが無事に実施することができた。次年度の開催に向けて早めに準備をしていききたい。</p> <p>③フードバンクは333kgの食品が集まったが昨年度と比べると160.4kg少なくなった。今年度は、町民まつりの会場でも預かり所を設けPRも兼ねて実施することができた。毎年社会福祉協議会と連携して同じ時期に実施し、寄付してくれる町民とフードバンク利用者の両方とに定着を図っていききたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①2月からエコ土曜日の資源物回収の品目に、水筒、魔法瓶、ウォータージャグを追加した。品目を増やすことによってごみ量を減少させ、リサイクル率の向上につなげていききたい。次年度も資源化できる品目について検討し、できる物から実施していききたい。</p> <p>①食器類のリユース品の回収では、キッチン雑貨も回収品目に加えることは可能とのことであるため、回収品目を追加するかどうか検討をしていききたい。</p> <p>②令和5年4月は、環境保全協力員の入れ替えの時期であるため、コロナ禍で3年間会議を開催することができなかったが、意思統一を図るためにも開催する方向で進めていく。また、5月に実施予定の環境美化運動についても、一斉で実施するか、希望自治会で実施するか、実施方法を検討し周知していききたい。</p> <p>③令和5年度も引き続きフードドライブを実施できるよう、社会福祉協議会等と連携を図っていききたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 エコ土曜日は町民に浸透してきていると感じる。回収品目が増えてきたことにより、一層のリサイクル率向上を期待する。</p>	<p>・ごみの資源化、減量化を更に推進するために、新たな品目の回収について検討していく。 ・エコ土曜日は、リサイクル率向上とごみの減量化に欠かすことのできない事業であるため引き続き継続する。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	総務課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる		政策	安心して暮らせる地域づくりの推進			
施策	日常を守る災害対策の推進		進捗状況	100%			
関連する優先目標	—		関連するSDGs	—			
KPI	風水害で避難が必要となる自治会(地区)の防災計画策定		本年度目標値	1	現状値	2	自治会
KPI			本年度目標値		現状値		
KPI			本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月		新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	5月	①地区防災計画策定支援	新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	6月		新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	7月		新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	8月	①地区防災計画策定支援	新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	9月		地区防災計画策定について1自治会に相談をかけた。				
	10月		新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	11月	①地区防災計画策定支援	新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	12月		自治会長あて説明会を行った。				
	1月		新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	2月	①地区防災計画策定支援	新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	3月		新規策定自治会の支援について検討を行っている。				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>今年度目標値は達成している。 新たな自治会を増やせるよう支援を実施していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>今年度目標値は達成している。 新たな自治会に対し、地区防災計画策定について働きかけを行っている。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>今年度目標値は達成している。 12/13の自治会長会議にあわせ、防災士会による地区防災計画の講習会を実施した。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>今年度目標値は達成している。 新たな自治会を増やせるよう働きかけを実施していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 災害時は地域住民の支えあいや減災に対する備えが大切になるので継続が必要である。</p>	<p>災害時の迅速な避難行動の実現や地域住民の防災意識の高揚を図るために、計画的な地区防災計画策定支援に努めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	総務課			
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進			
施策	防犯・交通安全の意識の高揚	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉			
KPI	刑法犯発生件数	本年度目標値	69	現状値	55	件
KPI	交通事故発生件数(人身)	本年度目標値	21	現状値	21	件
KPI	特殊詐欺発生件数	本年度目標値	0	現状値	1	件
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月		①交通安全教室 学生 6回1342人、幼児 3回144人 ②防犯灯設置 5基(蛍光灯→LED:3、新規2) 青色防犯パトロール実施 免許返納 2人			
	5月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 学生 1回45人、園児 5回45人 ②防犯灯設置 4基(蛍光灯→LED:2、新規2) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 免許返納 1人			
	6月		①交通安全教室 高齢者 1回20人、学生4回692人、園児5回230人 ②防犯灯設置 17基(蛍光灯→LED:7、新規10) 青色防犯パトロール実施 免許返納 3人 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件			
	7月		①交通安全教室 高齢者 1回30人、幼児 4回118人 ②防犯灯設置 9基(蛍光灯→LED:3、新規6) 青色防犯パトロール実施 免許返納 3人			
	8月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 幼児 3回136人 ②防犯灯設置 11基(蛍光灯→LED:3、新規8) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 免許返納 3人			
	9月		①交通安全教室 学生 2回288人、幼児 6回235人、 ②防犯灯設置 6基(蛍光灯→LED:5、新規1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 1件 免許返納 3人			
	10月		①交通安全教室 高齢者 1回30人、幼児 4回118人 ②防犯灯設置 14基(蛍光灯→LED:11、新規3) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 5件 免許返納 3人			
	11月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 幼児 3回183人 ②防犯灯設置 7基(蛍光灯→LED:3、新規4) 青色防犯パトロール実施 免許返納 7人			
	12月		①交通安全教室 幼児 2回240人 ②防犯灯設置 13基(蛍光灯→LED:5、新規8) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 4件 免許返納 7人			
	1月		①交通安全教室 幼児 7回380人 ②防犯灯設置 6基(蛍光灯→LED:3、新規3) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 免許返納 4人			
	2月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 幼児 7回302人 ②防犯灯設置 8基(蛍光灯→LED:4、新規4) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 免許返納 6人			
	3月		①交通安全教室 高齢者 2回40人、幼児 6回111人 ②防犯灯設置 3基(蛍光灯→LED:3) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 免許返納 6人			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、7件(5月末)対前年比 減1件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は14件(5月末)対前年比 減8件となっている。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、12件(8月末)対前年比 減1件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は31件(8月末)対前年比 減16件となっている。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、16件(11月末)対前年比 ±0件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は52件(11月末)対前年比 減10件となっている。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 (第 4 四 半 期 含)</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、21件(12月末)対前年比 ±0件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は55件(12月末)対前年比 減8件となっている。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 幅広い世代への啓発に継続して取り組んでいただきたい。</p>	<p>防犯パトロール、交通安全教室により、警察など関係機関と連携を取りながら、幼稚園・保育園児から高齢者まで、幅広い世代への啓発を継続していく。</p> <p>また交通事故防止、防犯に努めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

課局名		学校教育課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進			
施策	防犯・交通安全の意識の高揚	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉			
KPI	刑法犯発生件数	本年度目標値	69	現状値	55	件
KPI	交通事故発生件数(人身)	本年度目標値	21	現状値	21	件
KPI	特殊詐欺発生件数	本年度目標値	0	現状値	1	件
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①スクールガード・リーダー委嘱状交付 ①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認	①スクールガード・リーダー委嘱状交付、スクールガード報告依頼(4/1)			
	5月	①各小中学校へスクールガード名簿提出依頼、ボランティア保険加入処理 ①スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会の出席者確認報告 後日資料をスクールガードへ情報提供配布。 ①令和4年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請	①4月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(5/6) ①スクールガードの活動保険加入処理(5/24) ①地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請(5/25)			
	6月	①令和4年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請	①5月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(6/7)			
	7月	①スクールガード装備品(信号灯等)不足分購入・配布 ①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認	①6月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(7/1)			
	8月	①次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査 ①益子町通学路安全対策推進協議会開催にあたり、各小中学校、スクールガード・PTA等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所申請依頼	①7月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(8/5) ①益子町通学路安全対策推進協議会日程調整通知送付(8/26)			
	9月		①8月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(9/2) ①令和5年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施予定報告(9/2)			
	10月	①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ①「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知	①9月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(10/6)			
	11月	①益子町通学路安全対策推進協議会開催予定 各小・中学校、スクールガード・リーダー、真岡土木事務所、真岡警察と共に通学路の危険箇所の合同点検実施。また前年度の対策実施後の効果把握。対策一覧表・対策箇所図を作成・公表、関係機関で認識共有。	①10月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(11/4) ①益子町通学路安全対策推進協議会開催(11/8)			
	12月		①11月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(12/5)			
	1月		①12月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/11)			
	2月	①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ①新小学1年生へ防犯ブザー購入、1日入学時に配布 ①小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布 ①「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ①スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理 ①次年度のスクールガード・リーダー継続確認 ①令和4年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出	①1月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(2/7)			
	3月		①2月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(3/1) ①スクールガード・リーダー謝金の支払い処理・次年度継続確認(3/8) ①広報ましこお知らせ版下半期にスクールガード募集案内掲載(3/12) ①広報配布時自治会回覧にてスクールガード募集案内チラシ配布(3/31) ①令和4年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出(3/2)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①令和4年度のスクールガード数は70名、平均年齢は62歳である。 子や孫が新1年生でスクールガードに加入する方が多い。引き続き新規登録者確保に取り組んでいく。 益子町内4小学校1日入学時に、全保護者宛に新規募集案内通知を配布予定。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①益子町通学路安全対策推進協議会を次期四半期に開催予定。各校に危険箇所についての提出を依頼している。 協議会では、様々な立場の方に意見を聞き、通学路の現状把握に努めたい。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①11月8日、令和4年度益子町通学路安全対策推進協議会を開催。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議参加者は学校関係者、真岡警察、真岡土木事務所、町担当者のみとし、スクールガードリーダーからは事前に意見書をいただいた。 今年度新たに申請のあった6箇所の現場検証を実施。その後、事業主体を中心に対策内容を協議した。 また、昨年度までに視察・対策検討済みの56箇所について、事業主体ごとに現時点での対策進捗状況報告を行い情報共有ができた。 様々な立場の方々による意見交換は大変役に立ち、通学時の現状詳細を十分に把握することができた。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 (第 4 四 半 期 含)</p>	<p>②2月中旬の各小学校入学説明会時に、新規スクールガードの勧誘チラシ配布を実施。また3月末の町広報、各自治会回覧にて勧誘チラシを配布し周知活動に努めた。 新規加入者を確保するため、今後も周知活動を行っていく。</p> <p>④益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図について、3月30日に公表。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 子供たちの安全を守る取り組み継続に期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、スクールガードリーダーと連絡を取り合い、情報を連携し児童生徒の安全確保に努めたい。 ・スクールガード新規登録者を増やすことで、地域の安全を守る取り組みにつながるため、スクールガードの周知活動に努めたい。